



レインボー保育園だより

社会福祉法人 レインボー保育園
〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町2030-4
TEL. 045-811-3328 FAX. 045-811-2730

第 485 号
平成28年2月

豊かな情操を養い、自然の摂理を尊重させる

※自然に親しみ、その豊かさを感じましょう



やってみよう

主任保育士 瀧川 久子

先月、子ども達と年頭の挨拶をした時、年が明けるといふ事はどういう事かと聞くと、「大きくなるんだよ」と答えていました。私達大人は“年をとってしまったなあ〜”と少しマイナスに考えてしまいますが、子ども達は“小学生になるよ”“字がよめるようになる”等、前向きな希望に満ちた言葉がどんどん出てきて、嬉しくなりました。

きっとやりたい事、出来るようになりたい事など、子ども達にはたくさんあるのでしょう。それが学ぶ事であっても、体を使う事であっても一生懸命取り組んで、“できた”“そうなんだ”と思える事がどんどん増えてほしいと思います。そして自分のものになり自信を持ち、また次の事へ挑戦する意欲が出てきます。この子ども達の限りない可能性を身近に感じる事で私達大人にも良い刺激があるのではないかと考えます。

まずは心身健康である事を基本に、趣味でもいいし、やってみたかった事でもいいし、子ども同様に年を重ねる事を前向きにとらえて、何かひとつでも“やってみる”ということを目指して今年も充実した年にしていきたいと思います。

連絡事項

- 学芸会のお知らせ
日時：2月20日(土)
第一部(ことり、りす) 9:00~9:40
第二部(うさぎ、くま) 10:00~11:30
場所：もりのへや(2F)
※くまグループは最後に卒園記念写真を撮影します。
- グループ懇談会のお知らせ
一年間のまとめと進級に向けてのお知らせをします。ご出席をお願い致します。(詳細は別記にて)
- 後期健康診断について
2月1日(月)園医(伊東先生)にお尋ねしたいこと等ありましたら、保育士までお伝えください。



今月の目標

今月は、1年間のまとめとしての学芸会があります。子ども達は、話し合ったり声をかけあったり、かかわりを深めています。1年の成長した姿、楽しみにしてして下さい。

2月の保育予定表

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	健康診断	造形指導(くま)	豆まき ことり懇談会	おひさま懇談会	体育指導	
7	8	9	10	11	12	13
	造形指導(くま)	お弁当の日		祝・建国記念の日	上矢部小交流(くま)	
14	15	16	17	18	19	20
	学芸会リハーサル(ことり・りす)	学芸会リハーサル(うさぎ・くま)		誕生会		学芸会 一部8:30~9:40 二部10:00~11:30
21	22	23	24	25	26	27
	造形指導(くま) のびのびランチ交流	避難訓練		体育指導		入園説明会 (9:00~11:00)
28	29					
	ケアプラザ交流(くま) 大工さんごっこ(くま)					

お正月遊び

荒井 洋子



新年を迎え、保育園では色々なお正月遊びを楽しみましたよ。

私が担当する0、1歳児グループでは、保育士がこまを回して見せ、それを追いかけたり自分で回す事にも挑戦してみました。コマが回ると手を叩いてみたり、「うわあ〜」と嬉しそうに微笑みを浮かべる姿は、とても可愛かったですよ。



隣の2歳児グループでは、手作りの凧を揚げたり、かるた取りを楽しんでいました。「先生たこ、すっごく上がったよ。」「かるた8コマ取れたんだよ。」と嬉しそうに報告してくれました。幼児グループになると手作り凧に加え、手作り福笑いや手作りカルタでも楽しみました。自分達でルールを決め、お友達と遊ぶ姿は“さすが〜”と言った感じですね。



さてこのお正月遊びには、古い歴史と特別な願いが込められている事をご存知でしょうか？例えば凧揚げは1年を元気に過ごせるようにという願いから、福笑いは新年の福を祈願するもの、羽根突きは子供の健やかな成長を願う為と言われています。お正月遊び…。世代を超え親から子へと伝えて行きたい日本文化のひとつですね。



「イヤイヤ期」 ほめて叱って 一緒に成長!

篠塚 弘子



2歳のお誕生日を迎えたとたん「イヤー」「自分で！」が始まり、それは子どもの自我が芽生える大事な時期なのですが、「2歳のイヤイヤ期」とも言われて、ママ達に恐れられています。2歳になると、もう赤ちゃんではないけれど、言葉での表現も十分ではない。自分の気持ちをまだきちんと説明できない。だから行動で示そうということになり、自分の行為がどこまで許されるか、ここまでならオーケーかな？と行動の寸法を測っている時期だといわれています。

そんな2歳に大人はどう付き合ったらいいのでしょうか。押さえつけるだけではダメ。すべてを許してもダメ。そこで、子どもの行為をよく見て、ちょっとほめる。たくさんほめる。ちょっと叱る。きつく叱る。というように、「自分の思うままにいかない事もある」と社会の基礎をとらえられるように、弾力的に対応することをおすすめします。

また、ダダをこねて大泣きしたり、言葉では伝わらない時には、場所を変えてみて下さい。親子共に気持ちを切り替えやすくなりますよ。

大変だけれど、かわいとき！子どもに揺さぶられ、親も成長できるとも貴重なときです。イヤイヤ期を恐れずに、子どもに寄り添い楽しんじゃいましょう。それでも子育てに詰まった時には、保育士がお手伝いさせていただきますのでお気軽にご相談ください。

